



発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
 編集 沖縄県障害者社会参加推進センター
 〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1
 TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855
 ホームページアドレス <http://www.okisin.jp>
 Eメールアドレス okisinky@blue.ocn.ne.jp
 頒価一部 100円（会費に含まれています）

沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第62号

第5次沖縄県障害者基本計画がスタート

主な内容としては以下のとおりです。

●第5次沖縄県障害者基本計画が目指すもの

障害者基本法の目的及び基本理念を踏まえつつ沖縄 21 世紀ビジョンの将来像「心豊かで安全安心に暮らせる島」を実現するため障害者の権利擁護を推進するとともに、県、市町村、関係機関や地域社会の共通理解と協力体制を構築することにより、障害者自らの意思で望む生き方を実現できる社会づくりを目指します。



●各施策に共通する基本的な視点

①障害者等の意見の尊重と障害者の意思決定の支援

障害者本人の自己決定を尊重する観点から、障害者本人が適切な意思決定と意思表示ができるよう障害特性に配慮した相談等の実施、意思疎通の手段を選択する機会を確保します。

②障害特性等に配慮した支援

障害者施策は、性別、年齢、障害の区分、障害の種類別や程度、健康状態等に応じた障害者の個別的な支援の必要性を踏まえて策定及び実施します。

③アクセシビリティの向上

ICTを始めとした新たなデジタル化社会に向けて、ソフト、ハードともにバリアフリー化を推進し、アクセシビリティの向上を図ります。

④障害者に対する差別等の解消及び共生社会の実現

障害者差別解消法及び沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例等に基づき障害を理由とする差別の解消を推進し、地域共生社会の実現に努めます。

⑤施策の総合的な推進

障害者がライフステージに応じた支援を受けられるよう、福祉、医療、雇用、教育等の各分野の有機的な連携のもと総合的な施策の展開を図ります。

沖縄県ちゅうらパーキング利用証制度

令和4年7月より沖縄県ちゅうらパーキング利用証制度がスタートしました。この制度は、公共施設や商業施設等に設置されている障害者等用駐車区画（「車いすマーク」のある駐車区画）の利用対象者を障害者、高齢者、妊産婦などのうち、歩行が困難な者や移動の際に配慮が必要な者に限定し、対象者には共通の「利用証」を交付することで、同駐車区画の適正利用を図る制度で、全国的には、「パーキングパーミット制度」と呼ばれています。

8月5日現在、143カ所の協力企業・施設があり、北部地区59カ所、中部地区25カ所、那覇地区28カ所、南部地区27カ所、宮古地区2カ所、八重山地区2カ所となっています。協力企業・施設については随時、県のホームページで更新されます。申請交付対象者については下記のとおりとなっています。

交付対象者					
区分	交付基準 (障害者手帳の等級など)	有効期間	申請に必要な添付書類		
視覚障害	1級～4級	なし	身体障害者手帳		
平衡機能障害	1級～5級				
肢体不自由	上肢			1級、2級	
	下肢			1級～6級	
	体幹			1級～5級	
乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害	上肢機能			1級、2級	
	移動機能			1級～6級	
心臓、じん臓若しくは呼吸器又はぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫若しくは肝臓の機能の障害	1級～4級			なし	療育手帳
知的障害	A1、A2				
精神障害	1級				
難病患者	障害者総合支援法の対象となる状態に罹患している者(特定医療費(指定難病)受給者等) 特定疾患医療受給者 小児慢性特定疾病医療受給者	なし	各受給者証等		
高齢者等	要介護1以上	なし	介護保険被保険者証		
妊産婦	産前	妊娠7ヶ月から	妊娠7ヶ月から産後1年6ヶ月まで	母子健康手帳	
	産後	産後1年6ヶ月まで			
その他必要と認められる方	上記区分のうち交付基準に該当しない方のうち、歩行が困難又は移動の際に配慮が必要な方 その他の障害、一時的な怪我や病気等により歩行が困難又は移動の際に配慮が必要な方	1年未満で必要な期間	医師の診断書等、本人確認書類		

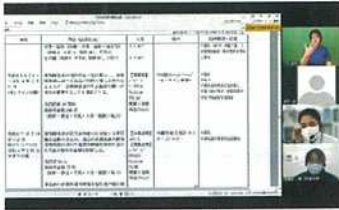
令和3年度 沖縄県障害者社会参加推進センター 事業報告

【社会参加支援】

1. 沖縄県障害者社会参加推進センター運営

障害者が自立した生活を営むことができるよう、障害の有無にかかわらず安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的として、県地域生活支援事業の実施、市町村地域生活支援事業の協力、各種団体の活動支援を実施した。

(1) 沖縄県社会参加推進協議会及び専門部会



センター事業の企画立案のため、行政機関、身体、知的及び精神障害者団体により構成している協議会を実施した。

※オンライン(Zoom)開催

(2) 障害者110番事業

障害者及びその家族等の抱える人権問題及び生活支援等の各種相談に専任相談員が応じるとともに必要に応じて専門機関を紹介した。

【日常生活支援】

1. 音声機能障害者発声訓練



疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した方々向けに、食道発声訓練等を毎月4~5回行い述べ287名が参加した。

【芸術文化活動】

1. 第61回沖縄県身体障害者福祉展



令和3年9月8日～令和4年3月末まで、冲身協ホームページにおいて、芸術作品244点を掲載し、1,078名余りが閲覧した。

2. 沖縄県身体障害者福祉展【レジェンド展】



令和3年12月14日～16日、身体障害者の社会参加、文化・芸術活動振興のため、過去の沖縄県身体障害者福祉展で優秀な成績を修めた者の作品を55点展示した。

沖縄県手をつなぐ育成会

令和4年度定期総会の報告

昨年来より全国手をつなぐ育成会連合会や九州地区各育成会では、集合体での各イベント開催が困難との認識で、多くの運営が従来とは異なる形式にて今年度を迎えました。

沖縄県内においても、新型コロナウイルスの感染対策として、社会福祉施設や学校、企業など、あらゆる分野において自粛による窮屈な生活環境が続いており、体力弱者と思われる高齢者や障がい者、さらには若年層への感染拡大に不安が持たれます。

そのような中において、委任状を主とし、出席者の少数化や短時間での適正な運営を心掛けるために、事前に総会資料を会員および各会員組織に送付した上で、会員半数をはるかに超えた出席者のもと、5月29日(日)沖縄県総合福祉センター ゆいほーるにて、令和4年度公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会定期総会を開催しました。



【総会会場の様子：感染対策を行ない開催しました】

全国手をつなぐ育成会連合会は、今年度もコロナの感染拡大により全国大会や諸事業において、従来とは異なる形式となり、鹿児島県で開催される九州地区ブロック大会も冊子形式の大会となることが決まっております。

沖縄県手をつなぐ育成会では、新型コロナの感染状況を探りつつ、的確に判断しながら、3年後に沖縄県で開催予定の九州大会に向けて、「兄弟姉妹の会」や会員増員などの活動強化を目指し、障がい当事者や家族支援の事業を推進してまいります。

令和4年度も皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

沖縄県精神保健福祉会連合会

研修大会のお知らせ

精神科医

赤い羽根共同募金

樺沢紫苑 講演会 × 障がい者家族会

コロナ禍に
おける心身
の健康をと
もに考える



2022.10.21 (金)

14:00～16:50 (受付開始 13:30～)

会場：西原町さわふじ未来ホール
(西原町字小波津555)

【イベント内容】

テーマ『終わらないコロナ禍を豊かに変えるために』

- ① 精神科医・樺沢紫苑先生による講演会と質疑応答
(質疑応答を含み、約2時間)
- ② 県内障がい者家族会からのビデオメッセージ紹介
(約30分)

イベントの参加
お申し込みはこちらから



沖福連のホームページからも
お申し込みいただけます
(www.okifukuren.org)

※ 会場（さわふじ未来ホール）の定員は通常約500席ありますが、コロナの状況により人数制限の行なわれる場合があります。会場の収容定員を超えた場合は沖福連会員を優先とし、その他の会場参加者については申し込み先着順といたします。どうぞご了承ください。

【お問い合わせ・連絡先】

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会
(担当: ましやま、ひが)
TEL. 098-889-4011 FAX. 098-888-5655
メール: sienn0804@yahoo.co.jp

沖縄県視覚障害者福祉協会

「音訳奉仕員養成講習会」開講中！

沖縄県障害者社会参加促進事業の一環として、「第73期音訳奉仕員養成講習会」が、令和4年5月25日よりスタートしました。

昨年度は、受講者の募集をしたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、残念ながら中止となってしまいました。そこで、昨年度にお申込みいただいた5名の受講者には、約1年間お待ちいただき、今年度やっと開講することができました。1年間お待たせして大変恐縮していたところ、受講生から「ずっと楽しみにしていました」と温かい声をかけていただき、感謝しております。

音訳講習会はこれまで10名の定員で講習を行って参りましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により定員を半数に減らし、十分な換気と十分な間隔をとって行っています。また、本来は発声練習も全員一緒に声を出して練習するところですが、現在は各自、自宅で練習していただいています。

音訳は、パソコンを使って録音をしていただくのですが、講習会前半にパソコンでの録音方法を数回にわたって行いました。「録音」というと、すぐマイクに向かえばいいと思っている方も多いと思いますが、「利用者の方が聞きやすい図書」を製作するために、実は注意すべき点が色々あります。例えば、屋外からの音（飛行機や救急車、犬の鳴き声など）、家の中の音（テレビや電話の着信音など）、それから自分自身から生じる音（胃の消化音や口中音など）です。皆さんがこれまでの日常生活では雑音と感じなかった「音」に気を付ける必要があります。このような注意点を踏まえたうえで、録音の練習を始めました。

最初は皆さん緊張した面持ちで録音している様子が伺えましたが、次第に慣れてきてスムーズに作業ができるようになりました。

ところが7月に入り、県内の感染者数が急増したため、音訳講習会も一時中断することとなりました。今後は感染状況をみて再開する予定で、音訳の技術的な処理、アクセントや写真・図表の処理についてなど、より専門的な内容に入っていきます。全20回の音訳講習会、感染対策に気を付け、修了まで頑張ってください！



沖縄県聴覚障害者協会

第19回聴覚障害教育フォーラムin沖縄

去る令和4年7月24日(日)に「第19回聴覚障害教育フォーラムin沖縄」が、沖縄県総合福祉センターで行われました。全日本ろうあ連盟副理事長の他にも、数多くの役職をもつ石橋大吾氏にご講演いただきました。石橋自身もろう者であり、力強い手話表現が印象的で、約150名の参加者が惹きつけられていました。

講話では、手話言語と人工内耳関連、国への要望や「鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』」の開設までの取り組みの紹介等がありました。ろう学校の幼児児童生徒、難聴学級の児童生徒のためにも、インクルーシブ教育の視点で切れ目のない支援、聴覚障害教育の今後の展開や将来について改めて考える機会となりました。大変学び得ることも多く、質疑応答も盛り上がりました。



今回のフォーラムは、ろう者、保護者、教職員の他、福祉団体やサークル関係の参加者の皆様にとって良い機会となったと思います。恒例のアトラクションでは、「琉球鼈太鼓」が3年ぶりに披露され、感動に包まれた教育フォーラムとなりました。



あはき(あん摩マッサージ指圧・鍼・灸)師会

戦後のあゆみ②

『沖縄県はり・きゅう・マッサージ師会(現在の名称)』が、1991年(平成3年)5月15日に社団法人の認可を受けてから【国保によるあはき助成事業】の利用券の発行もスムーズに拡大していき、数年で県中南部の17市町村に広がった。

1986年にはNAHAマラソンに、その他、おきなわマラソン、伊平屋村ムーンライトマラソンや伊是名村で開催された健康フェスタなどへのマッサージ奉仕活動、いわゆる公益事業に力を注ぐようになった。

そのはたらきが評価されて、1995年(平成7年)4月1日から『沖縄県市町村職員共同共済組合』と『沖縄県教職員共済のあはき助成事業』が実施された。

長年、沖縄は本土の業界との結びつきが無かった。そのため2006年(平成18年)6月18日に開催された通常総会で、『公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会』に加盟することになり、それに加え、その年から療養費の取扱いにも参入することになった。

これまで、患者は自由診療でしか、あはきの医療サービスを受けることが出来なかったが、このあと各市町村からの公的な補助や保険を活用してサービスを受けられるようになり、そのため安価で継続的な治療が期待されるようになった。

最後に、戦後7年目に沖縄を訪れた高橋福治はどうなただろうか。1951年(昭和26年)に盲教育がスタートしたため「校長としてもう一度学校に迎えてはどうか?」という意見もあったが、高橋自身は「どんな形であれ沖縄の盲教育が再開されるなら満足だ」と述べ申し出を断った。しかし沖縄の盲人福祉のために役立ててほしいと、私有地811坪を沖縄県視覚障害者福祉協会に寄贈し、故郷の宮崎県に戻った。

県立沖縄盲学校は去年の5月15日に100周年を迎えた。私たちは、一人の盲青年の情熱と勇気が何千、何万人という視覚障害者とその大勢の関係者に、大きな希望と生きるための力を与えてくれたことを決して忘れることはないだろう。そして高橋福治の自己犠牲的な生き方は、脈々と受け継がれていくと確信している。

お話し
沖縄県身体障害者相談員連絡協議会会長 豊平 朝清

沖縄県友声会

音声機能障害者発声訓練及び個人指導・発声相談について

このままでは終わりたいくない！
声は出る、絶対出る！
リハビリは嘘をつかない！

喉頭がん、咽頭がん、舌がん、食道がん、甲状腺がん等による喉頭全摘者で音声機能障がいの方を対象に「発声訓練・個人指導等」を行っています。



毎回、体温チェック、定期的な換気、開催時間の短縮を行い、最後は教室を消毒しています。

皆様のご協力のおかげで継続して開催することができています。

開催日時	開催場所
毎月第1～4土曜日 (14:00～16:00)	沖縄統合医療学院（2号館） (浦添市伊祖4-9-8)



【問い合わせ先】

・社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
TEL：098-851-3455 FAX：098-851-3855
携帯：090-8294-2290
E-mail：taiki10@okisin.jp

・沖縄県友声会 会長：田名 勉
TEL&FAX：098-933-3088



日本オストミー協会 沖縄県支部

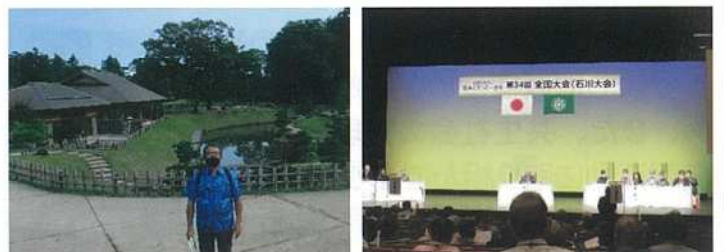
第34回全国大会（石川大会）参加



新型コロナウイルスの影響で2年間中止していた全国大会（石川大会）に6月18日、19日の両日参加しました。直行便の関係上前日に那覇空港、松山空港、もてなしドーム及び鼓門を潜り、徒歩にてホテルに向かいました。部屋に荷物を置いて会場確認、会場周りには金沢城公園、日本三大名園の兼六園が隣接していましたが、翌日の楽しみとしてホテルへ帰りました。夕食は近くの香林坊繁華街で地元食材を堪能しました。

大会当日、開催前の午前中には、尾山神社・ネズミ多門より金沢公園の各門・菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓などを見学。会場に隣接する兼六園では、シンボルの霞ヶ池、日本最古の噴水、木々の枝ぶりに感動しました（風情のある街並みの東山・卯辰山エリアの見学は次の機会にでも）。

大会1日目は、表彰式典・装具等の業者の紹介（各社の装具等・支部活動報告は別室にて展示）・報告事項・今年度計・予算の承認等に加えて、和菓子作り『森八』の十八代女将 中宮紀伊子 氏の講演会が行われました。その後、場所を移動して懇親会が開催され、なじみの方々、初めて会う方とノンアルコールで交流しました。



大会2日目は、各県の役員・支部長参加の支部長会議が行われ、次年度以降の大会開催について話し合いました。そのほか、コロストミー（結腸ストーマ）・イレオストミー（回腸ストーマ）・ウロストミー（尿路ストーマ、人工膀胱）・その他に分かれて交流・情報交換会に参加し大会は終了しました。とても有意義な大会でした。



令和3年度 沖縄県身体障害者福祉協会 事業報告

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、私たちの社会活動に多大な影響を及ぼし、これまで経験したことのない日々変化する生活様式の中で、感染症拡大防止策を講じての各種事業や福祉サービス活動を継続して実施をすることができ、中でも沖縄県身体障害者福祉大会は、感染拡大防止策を講じて開催出来たことに安堵しました。さらに、障害のある人が障害のない人と等しく分け隔てることなく安心して暮らすことのできるよう、共生社会の実現の柱「心のバリアフリー」に向けて積極的な啓発・広報活動に取り組みました。

【本部運営・啓発事業】



市町村身体障害者協会長及び事務担当者会議

【沖縄県障害者社会活動推進助成事業】



令和3年度ピアサポーター養成講習

【沖縄県身体障害者スポーツ振興事業】



令和3年度 沖縄県身体障害者スポーツ競技会（STT）



令和3年度沖縄県障害者スポーツサポーターステップアップ研修会



令和3年度沖縄県身体障害者ポッチャ教室



【共同募金助成金事業】



身体障害者福祉大会 表彰委員会



第54回沖縄県身体障害者福祉大会

【地域活動支援】



南城市身障協 囲碁将棋大会（協力）



うるま市身障協 スポーツ教室（協力）

令和3年度 沖縄県身体障害者福祉協会 決算報告

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

貸借対照表

借方		貸方	
流動資産	141,673,223	流動負債	52,171,707
固定資産	833,336,455	固定負債	114,963,160
		基本金	46,762,127
		国庫補助金等特別積立金	401,467,131
		その他の積立金	113,400,000
		次期繰越活動増減差額	246,245,553
計	975,009,678	計	975,009,678

資金収支計算書

支出		収入	
事業活動支出	426,237,497	事業活動収入	452,663,042
施設整備等支出	74,601,402	施設整備等収入	24,600,000
その他の活動支出	12,068,800	その他の活動収入	50,034,552
当期末支払資金残高	106,136,925	前期末支払資金残高	91,747,030
計	619,044,624	計	619,044,624

事業活動計算書

費用		収益	
サービス活動費用	441,839,380	サービス活動収益	449,878,537
サービス活動外費用	1,641,589	サービス活動外収益	2,784,505
特別費用	24,942,322	特別収益	25,100,000
その他の積立金積立額	10,000,000	前期繰越活動増減差額	196,905,802
次期繰越活動増減差額	246,245,553	その他の積立金取崩額	50,000,000
計	724,668,844	計	724,668,844

財産目録

資産・負債の内訳

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	141,673,223	流動負債	52,171,707
固定資産	833,336,455	固定負債	114,963,160
		負債合計	167,134,867
資産合計	975,009,678	差引純資産	807,874,811

※ 紙面の都合により、決算額(大区分)のみの掲載とさせていただきます。詳細につきましてはホームページより閲覧可能となっておりますのでご確認ください。